

生徒指導だより

10月号

令和7年9月30日発行
市川市立東国分中学校
生徒指導部

10月の活動目標

前期を振り返り、後期へ新たな
一歩を踏み出そう！

夏の猛暑も過ぎ去り、朝晩はすっかり肌寒さを感じるようになりました。夏休みが終わり、およそ1ヶ月がすぎ、10月は前期の通知表が配付されることとなります。通知表の成績も大切ですが、これまでの自分の学校生活について振り返る機会にもしてほしいと思います。

進級・入学してから「できたこと」「もう少し努力が必要なこと」を見つめなおしてみましょう。振り返ることで次の成長へのヒントをもらえるはずです。新しい目標を立て、自分をアップデートして後期をスタートさせましょう。

明日から制服登校です！



先日、文書でお知らせしたとおり、10月1日（水）より制服登校となります。

冬服の準備をし、体が成長して制服のサイズが合わなくなっている人（スカートやズボンの丈など）は、調整してもらってください。

気候や体調に合わせて、夏服・冬服のどちらを着用しても構いません。

3年生は、校章やクラス章を忘れないようにしましょう。

学校生活の指針はホームページに掲載していますので、各自確認してください。

1・2年生の制服着こなしについて

冬服の注意点

紺のブレザーを着用する場合

- 白い長袖のワイシャツを着用しましょう。
 - ワイシャツの下は体操服を着用しましょう。
 - ブレザー・ワイシャツのボタンはしめましょう。
- ※ネクタイ・リボンのどちらかを着用しましょう。
また、ゆるみがないようにしっかり着用しましょう。

ワイシャツのみを着用する場合

- 白い長袖のワイシャツを着用しましょう。
- ワイシャツの下は体操服を着用しましょう。

●ネクタイ・リボンを着用する場合

ワイシャツのボタンはすべて留めましょう。

●ネクタイ・リボンを着用しない場合

第二ボタンから下はすべて留めましょう。

制服の着用モデル

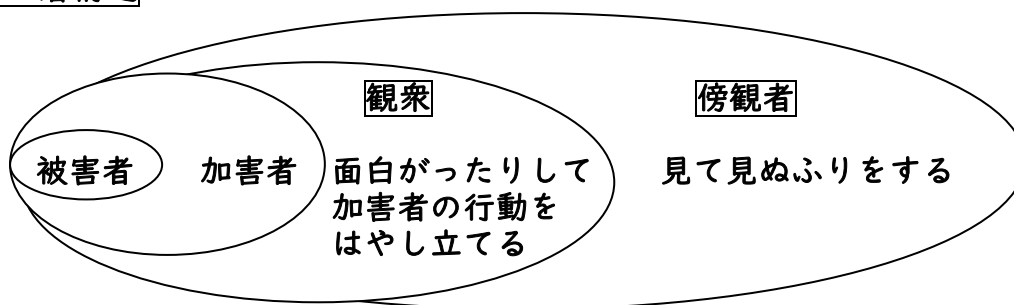


～「いじめ」について考えてみよう～

生活アンケートで、「いじめについてどう思いますか?」という質問があります。質問に対して、多くの人が「いじめは良くないこと」「絶対にしてはいけない」と考えています。これは大半の人が共感できることなのではないでしょうか。同じように考えている中学生は東国分中生だけでなく、全国各地の中学生も多くいます。しかし、右図にある通り、全国的にいじめはなくなりません。「いじめを見たら注意しよう」など、誰もが正しい心を持っていたとしても、いじめは起こってしまっています。それはなぜでしょう。

答えのヒントとなるのが下図の「いじめの4層構造」です。いじめが続いたり、大きくなってしまふのは、被害者、加害者以外の「観衆」や「傍観者」の存在が影響していると言われています。「観衆」はいじめを積極的に是認し、「傍観者」はいじめを暗黙的に支持し、意図していなかったとしても、いじめを促進する役割を担ってしまいます。

いじめの4層構造



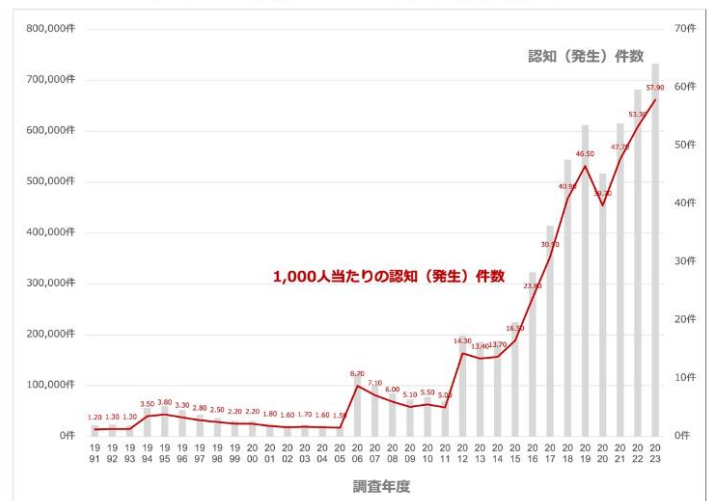
皆さんの中で、加害者の行動をはやし立てる「観衆」は、加害者同様にいけないことだという認識はあると思いますが、「傍観者」はどうでしょう。皆さんの中にも一度や二度は見て見ぬふりをしてしまった人がいるのではないのでしょうか。また、「傍観者」だから、いじめとは関係ないと思える人もいるでしょう。

実は、4層構造の大多数を占める「傍観者」が、いじめをなくす行動（周囲の大人に相談をする／注意をする等）ができると、いじめの問題が続いたり、大きくなったりすることを防ぐことができます。また、そのような正しい行動ができる人が沢山いる集団だと、いじめ問題は起こりにくくなります。

いじめ問題で一番悪いのは、加害者であることは言うまでもありません。しかし、その周辺にいる「傍観者」も、いじめを助長する原因になってしまっていることを認識してもらいたと思います。

これからも東国分中が、より「過ごしやすい」学校になるために、一人一人が当事者意識を持ち、困っている人を見捨てない気持ちをさらに高めていきましょう。

いじめの認知件数と1,000人当たりの認知件数の推移



全国PTA連絡協議会HPより